

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電二九三五）六・公衆〇四七二（二二）七二〇七

# 10・11の大爆発引き継ぎ、大会の大成功へ！

## 10・11三里塚に全国から二万800人が結集！



成田駅橋内で当局に怒りのシュプレヒコール

脱落グループを除名！  
原則を守り闘いぬく！

集会に先立ち勤労千葉は、千葉運行部当局の「旧成田運転区立ち入り禁止」攻撃をうち破り、成田駅改札前において断固として意志統一を行い、当局に対し怒りのシュプレヒコールを叩きつけ集会場へ出発した。

集会は、萩原勇一氏、萩原静江さん司会のもと、十二時すぎより開始され、「二一年の一切をかけた闘いの始まり。9・4の小川ら四戸の脱退を許さず敷地内を守りぬく」と開会を宣言した。

まず、主催者を代表して敷地内天神峰の市東東氏は、「基本を堅持し、9・4の脱落をもものごとく粉砕した」と力強く語った。

秋葉義光氏からは、この間の小川グループ四戸の脱退に関する反対同盟の見解が明らかになり、「小川嘉吉氏の畑で集会を開催することは裏切りであり敵対である」と弾劾したうえで、小川嘉吉、小川耕平、島村良助、島村昭治、笹川己三夫の五名を除名処分することを全参加者に明らかにし、これからも二一年間闘ってきた原則を守りぬき勝利することを宣言した。

反対同盟は不動、不滅！  
11・29集会へ全力決起を！

北原事務局長が基調報告を行い「反対同盟は不動であり不滅である。労働学共闘が二期を阻止してきたし、これをなしに

十月十一日、成田市天神峰において、三里塚芝山連合空港反対同盟主催により開催された「10・11全国総決起集会」は、全国から闘う住民団体、支援労組、労働者、学生など一万八千人が大結集する中、勤労千葉は、第十二回定期大会の成功へ向けた第一のステップとして、組合員・家族一五〇名の隊列で登場し、「四分一分割・民営化」体制粉砕へ労働連帯の旗を高々と掲げ総進撃することを宣言し、集会、デモを貫徹した。

闘いはなかった。ここに集まった人こそ中曽根の軍大化阻止を闘っている。木の根決戦に一切をかけて勝利する。11・29集会へ全力で結集を」と、十月、十一月闘争で二期工事阻止を主力でかちとることを全参加者が誓った。

また、来年二月の芝山町議選に再び立候補する鈴木幸司町議は「二月の選挙に生涯をかけて闘う」と、今年の北原事務局長に続いて選挙闘争に勝利するため全力で闘う決意を明らかにした。

特別報告として、勤労千葉より布施書記長が登壇し、故関川前委員長追悼集会への多くの方々の参加にお礼を述べた後「昨年の今ごろは一人ひとり決断を迫られる状況だったが、一年経った今勤労



決意を述べる布施書記長

千葉は、運転職場の多数派として存在している。中曽根と対決しはね返す以外に労働者人民が生きていく道はない。また、鉄道労働連帯なしに出向阻止もない」と勤労千葉の不屈の闘いが労働連帯によって築きあげられたこと、強制出向阻止へスト体制で進撃することを明らかにした。

土地・家屋を共有し  
出撃拠点として闘う

続いて、反対同盟の決意表明に移り、主催者代表で挨拶した市東氏を含め加藤清氏、そして敷地内に農地を持つ萩原進氏が登壇した。萩原氏は「敷地内の土地、家屋を全国の仲間と共有のものとし、出撃の拠点にする」加藤氏は「われわれの闘ってきたことが正義」と決意を語った。

さらに、郡司とめ婦人行動隊長、官本衛青年行動隊長より「主流であるならば闘わなければならない」「早朝、小川グループ弾劾を行ってきた」と決意と報告を行った。また、弁護団の葉山弁護士、一之瀬弁護士から共に闘う決意が述べられた。

カンパ要請が行われた後、住民団体の決意表明が行われ、全関西実行委員会に粉砕する淡路町反対期成同盟・永井満氏を明石住民の会・加辺永吉氏、東灘区住民の会・山本善偉氏、泉佐野市議会議員・国賀祥司氏、さらに北富士忍草母の会、沖繩行動団、部落解放同盟茨城県連、部落解放同盟荒本支部、佐藤光政氏、赤堀中央闘争委員会、東京実行委員会、木の根全国共闘、全日農福島青年部、婦人民主クラブ全国協議会、二期阻止全国共闘寄せ場と三里塚を闘う労働者の会、横浜屠場労組、共闘団体の決意表明が行われた後、集会宣言、スローガン採択、団結ガンパロー三唱を行い東峰十字路から天神峰へ向けてデモを行った。

すべての組合員のみをさん！  
「10・11全国総決起集会」の迫力もつて「第十二回勤労千葉定期大会」を圧倒的に成功させよう。さらに、青年部を先頭に皇太子沖繩訪問に反対の現地闘争に決起し、十月決戦勝利をかちとり、強制出向攻撃を粉砕しよう！



天神峰を進む勤労連合の部隊

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃